

# 經濟論叢

第七十七卷 第五號

---

リカアドウの經濟學體系……………岸本誠二郎（1）

新中國における人民幣デノミネーション  
について……………三木毅（29）

マルクス＝エンゲルスのイギリス革命論(1)……………尾崎芳治（45）

ゲオルク・ルカーチ「若きマルクスの  
哲學的發展について（1840—1844年）」……………平井俊彦（62）

---

〔昭和三十一年五月〕

京都大學經濟學會

# 新中國における

## 人民幣デノミネーションについて

三 木 毅

### 一、開 題

中華人民共和國憲法序文に「中華人民共和國の成立から社會主義社會の建設までは過渡時期である。過渡時期における國家の總任務は逐次國家の社會主義工業化を實現し、農業、手工業と資本主義工商業にたいする社會主義改造を完成することである」と定めている。一九五五年七月決定した第一次五ヶ年計劃は、憲法に定める過渡時期の總任務、一般にいう總路線の實踐的な財經プログラムである。五ヶ年計劃の確定は新中國にとつてまことに歴史的な大事件である。ところで、五ヶ年計劃に關心がうられるあまり、これまた過渡時期總路線の一重要な措置であるにもかかわらず、わが學會であまり注目されておらない貨幣改革がある。

この貨幣改革は五ヶ年計劃實施の一九五三年に決意され、五ヶ年計劃案確立の一九五五年に實施されたのであつて、その偶然ではない時日の一致に、まづこの改革の重要性を知るべきであらう。

貨幣改革は、右の通り一九五三年に實施が決定したのであるが延期され、さらに五五年一月の實施も市況の關係

から見送られ、漸く二月十六日中國人民協商會議第二回全國委員會第三次會議の提議をへて、二月十七日國務院第五次全體會議を通過、二月二十一日「新しい人民幣の發行と現行の人民幣の回收に關する命令」として公布され、三月一日から實施されたものである。

國務院命令によれば、この貨幣改革は

「國家計劃經濟建設の必要と廣大な人民の希望にこたえ、財政收支平衡と金融物價安定の基礎の上で、貨幣制度をさらに健全、鞏固にし、もつて交易と核算に便ならしめるため」に行い

一、中國人民銀行は一九五五年三月一日から新人民幣を發行し、現行の人民幣を回收する

二、新舊幣の兌換比率は一元對一萬元とする

三、一萬元、五萬元の舊幣は一九五五年四月一日から流通禁止、五月一日から兌換停止する。五千元と五千元以下の舊幣については兌換狀況をみて別に定める

四、偽造者、偽幣にせぎの使用者は、妨害國家貨幣治罪暫行條例で罰する。新幣發行にかりて投機を行い、新舊幣の兌換を經營して利をうる者は罰する

ものであるとしている。この貨幣改革は、命令に定めるように、いわゆるデノミネーションであつて、これによつて交易と核算を便ならしめようというのである。しかし人民幣の呼稱單位引下と交易、核算の便との因果的結びきは形式的な判断からは理解されない。この貨幣改革は國家計劃經濟建設の必要から行われる。交易と核算は貨幣本質と職能の普遍的な作用であるが、特にこれを國家計劃經濟の必要に對應させた事實によつて、この貨幣改革が計劃經濟建設期における貨幣本質と職能の發展した認識に立つものであることを考えねばならない。命令首文を多少解

説的にみれば、改革の特長もしくは意義は、第一に貨幣制度を確立するというような、制度的な改革ではなくて、既設の貨幣制度を一層健全鞏固にするための改革であること、第二に計劃經濟建設の必要から實施されることである。これらの特長ないし意義は、過去の中國におけるどの貨幣改革ももてなかつた特長、意義であつた。

(1) 中華人民共和國國務院、關於發行新的人民幣和收回現行的人民幣的命令、一九五五年二月二十一日。

慕容淑舒、黃長水先生談新幣、經濟導報、一九五五年、第十期。

曹菊如、就新舊幣兌換問題答記者問、天津大公報、一九五五年三月一日。

## 二、改革の特長

一九五五年三月の貨幣改革は、安定した貨幣を減價した、あるいは完全に價値を喪失した貨幣を回収し、新たに貨幣制度を立てるために行われた過去の貨幣改革、たとえば一九四二年三月の法幣による儲備券の回収、四八年八月の金圓券による法幣の回収、四八年から五年にいたる人民幣による邊幣の回収等のデノミネーションとは全く違つてゐる。

人民幣は一九四八年十二月中國人民銀行券として華北解放區の統一貨幣として發行された。當時國民黨地域に法幣（後に金圓券）が流通し、解放地域には十數種からなる各解放邊區銀行券、いわゆる邊幣が流通していた。法幣は一九三五年十一月、アメリカの購銀政策による白銀流出と國內物價の低落に對して行われた貨幣改革によつて發行されたのであるが、日中事變と内戦の過程に幣價が暴落し、四九年八月の貨幣改革が實施された時は、一九三七年の〇、〇〇〇〇〇〇一倍となり、金圓券によつて回収された。金圓券も發行後一年たらずの間に幣價は〇、〇〇

〇〇〇〇〇〇一倍に下落し、「票子化水」の状態を現出した。一九三七年から四九年の十二年間に、法幣、金圓券の發行は一、七六八億倍に膨脹し、物價は上海において二三八、八四二億倍に暴騰したのである。<sup>1)</sup>このような幣價の下落と貨幣制度の紊亂から金銀が代用貨幣として使用され、さらに沿海地方に香港磅券、米弗券が流通し、滙豐 (Hongkong and Shanghai Banking Corporation)、麥加利 (Chartered Bank of India, Australian and China) 等の外國銀行はなお發行特權をもつていた。一九四九年五月上海解放を契機に、人民幣による金圓券の回收が一段落し、流通外國紙幣が驅逐され、六月に金銀の使用が禁止された。他方、邊幣も統合と人民幣による回收が續き、五一年十一月新疆流通の新疆券と銀元を最後に邊幣全部の回收が完了した。<sup>2)</sup>中國は王朝から民國にいたるまで統一貨幣がなく、また外國銀行券、鑄貨の流通があり、外國からの制肘があつて獨自の貨幣制度をもつことができなかつたのであるが、一九五一年西藏流通の西藏券、銀元をのぞいて人民幣が唯一の通貨となり、ここに空前の獨立的、統一的な貨幣制度を確立したのである。<sup>3)</sup>

一九五〇年三月統一國家財政經濟工作が實施されてから、通貨の膨脹抑制と幣價の安定維持の諸政策がもたれ、幣價は一九五〇年三月を一〇〇として、四月七五・一、十二月八五・四、五一年十二月九六・六、五二年十二月九〇・六、五三年十二月九一・七と全く安定している。王朝時代の飛錢、交子、會子、寶鈔はもとより、民國の法幣、金圓券にいたるまで人民幣のように幣價を長期に安定させることはなかつた。新中國は一九五二年以來未曾有の安定的な貨幣制度を確立することとなつたのである。<sup>4)</sup>

一九四九年十一月から五一年十一月にいたる人民幣の發行とそれによる邊幣統一は、いうまでもなく一個の貨幣改革であつて、この貨幣改革によつて新中國の貨幣制度がきまされたと見るべきである。一九五五年三月の本貨幣

改革は、この貨幣制度を改善し鞏固にする改革であつた。

新中國貨幣制度の優越性は、その獨立的、統一的、なかならず安定的なところにある。

貨幣價值安定の前提條件は、國家が商品流通と貨幣流通を掌握し計劃的にこれらを調節すること、すなわち物價決定機構を適切に規制することである。新中國における財政收支の平衡、物資調達處理の平衡、現金收支の平衡、國際收支の平衡の、いわゆる四平原則は、この物價決定機構を支配する實踐方式である。

財政收支は一九五〇年三月財政工作の統一管理が實行されてから、稅收の調整、公債の發行、支出の節約を適切に進めたためすでに平衡に近づいた。五八年から増産節約運動が展開され、工業生産の恢復、發展を積極的に支持した結果、財政收支の總額は一九五一年二九・六億元、一七四・八億元、五二年一七五・五億元、二四六・五八億元、五三年二二七・六億元、三一五・六二億元、五四年二七四・七億元、三六六・四二億元となり、完全に平衡し、剩餘金さえ生じている。財政收支の平衡は貨幣増發による赤字補填を必要とせず、商品流通の要求によらない貨幣發行の矛盾を根本的に消滅させ、剩餘金は銀行の貸借資金準備を強化するものであつた。

物資の調達處理は生産の恢復、發展を基礎に、一九五〇年三月經濟工作の統一管理が實施されてから國營貿易機關の整備によつて全く平衡し、さらに一九五三年十一月から食糧、食油、油料、五四年九月から棉花、棉布の統購、統銷が行われ、物資調達處理の平衡を強化している。國營、合作社商業はすでに一九五四年卸賣商業の八〇%、小賣商業の五〇%以上をしめ、大量の物資を把握し、一定の價格で市場に投入し、人民幣の物的保證を確保しているのである。物資調達處理の平衡によつて、全國人民の購買力の變化に應じて商品供給を計劃的に調節することができた。

現金收支は一九五〇年四月から全國機關、國營企業、合作社所有現金の國家銀行への集中<sup>9)</sup>と其の基礎に立つ現金出納計劃の諸措置によつて平衡している。現金收支の平衡は貨幣流通を商品流通と季節的需要に適應して計劃的に調節することができた。

國際收支は工業生産の恢復、發展にしたがい、對外貿易の擴大によつて伸張し、その總額は一九五〇年を一〇〇として、五四年二二・五、支出の收入にしめる比重は五〇年から五二年九〇%、五三年から五四年九八・六%となり、收支平衡し、さらに剩餘金を生じている。對外貿易は大體國家に掌握され、外國爲替は國家銀行に集中されている。國際收支にしめる對外貿易の比重は一九五〇年七〇・八%、五四年八三・九%、對外貿易にしめる國營對外貿易の比重は五〇年六一・一%、五四年九七%である。國際收支の平衡は國內物價を上昇させる外爲的な影響を緩和し、剩餘金は人民幣の物的保證を健全にしている。

人民幣の保證は商品にあるといわれる。工業生産の恢復、發展があり、商品の市場流入が増加し、かつ國營、合作社商業が急速に擴大して、ますます大量の商品が國家の手中に掌握され、人民幣の物的保證は一層鞏固な基礎に立つているのである。もちろん貴金屬もまた人民幣の準備として必要であつて、一九五四年の金保有高は四九年の十倍以上に達している。<sup>11)</sup>

今次の貨幣改革が以前の貨幣改革と異なる點は、すでにみられる通り、金融物價の安定した狀況で、確立された貨幣制度の下に行われることである。不安定と紊亂は過去における貨幣改革の前提條件であつた。しかし今は全くそれがない。今次貨幣の特長は、まさしくその基礎條件が安定的なことにある。

(1) 黃達、國民黨反動統治下の貨幣制度害死人、財政經濟出版社編、發行新的人民幣的意義與作用、八九頁。

- 黃元彬、偽金圓券大洗却、天津大公報、一九五五年三月七日。
- (2) 郭熾沂、紙幣漫話、經濟導報、一九五五年、第八期。
- 王靜然、人民幣的歷史發展簡述、經濟周報、一九五二年、第二十九期。
- 壽迪文、我國的人民幣是世界一流的貨幣、財政經濟出版社編、前揭書、四二頁。
- 曾凌、韓雷共著、一九四八至一九四九年解放地區的貨幣流通、經濟研究、一九五五年、第三期。
- (3) 三木毅、新中國に於ける金銀制度に付いて、北海道大學經濟學研究、第三號。
- 郭熾沂、人民幣史話、經濟導報、一九五五年、第九期。
- (4) 楊培新、我國的貨幣制度是獨立、統一和穩定的貨幣制度、財政經濟出版社編、前揭書、五四—五九頁。
- 張文、從五年來的物價穩定看人民幣值的穩定、財政經濟出版社編、前揭書、六三頁。
- (5) 中央人民政府政務院、關於統一國家財政經濟工作的決定、一九五〇年三月三日。
- 三木毅、新中國における統一國家財政經濟工作について、室蘭工業大學研究報告、第一卷、第五號
- 陳雲、調整工商業和調整稅收問題、中國國際貿易促進委員會編、三年來新中國經濟的成就、四〇—五二頁。
- (6) 三木毅、新中國における工商業の調整について、京都大學經濟論叢、第七五卷、第六號。
- 李富春、中國工業の目前情況和我們的努力方向、中國國際貿易促進委員會編、前揭書、八六—九〇頁。
- (7) 三木毅、新中國における三反、五反運動と運動下の財經工作について、室蘭工業大學研究報告、第二卷、第一號。
- 楊培新、發行新的人民幣的意義與作用、財政經濟出版社編、前揭書、一四頁。
- (8) 大公報社編、一九五五年人民手冊、四五—四五六頁。
- (9) 中央人民政府政務院、關於實行機關現金管理的決定、一九五五年四月七日。
- (10) 中國人民銀行負責人談、我國國際收支情況、財政經濟出版社編、前揭書、一一二頁。
- (11) 馬寅初、新中國貨幣制度的特點及其優越性、財政經濟出版社編、前揭書、七九頁。



### 三、改革の意義

一九五五年三月の貨幣改革は、それをもつて交易と核算に便ならしめるためのものである。しかもこの貨幣改革の重要性は、人民幣をして交易と核算の下で機能させることが、特に計劃經濟建設の要求につながるころにある。

交易と核算は、いうまでもなく實踐上において貨幣が流通手段として、又計算手段として機能することを要求する。だからこそこの改革は、當時の人民幣が、第一に票面額がきわめて大きい——人民幣の單位は元であるが、實際の計算は最小で數百元、一般に萬元が單位として使用され、一元はすでに單位として計算の意義を失つてゐる。この現象は經濟工作上はなほだ不便で、計算、記帳に困難をきたし、人力物力を浪費してゐる。第二に種類が多く、紙質が不良で、印刷技術が悪い——これらの缺點は、識別を困難にし、とくに文盲の農民、小數民族が色、圖景による票面額の判断を不可能にし、又紙幣の整理と修理に人力物力を浪費し、くわえて偽造變造を容易にした。第三に票面文字は、一部が蒙古文、維吾爾文を用いてゐる外、大部分が漢文であるため、小數民族地域の流通をさまたげていた、等の缺陷から、交易、核算の下で機能するにふさわしくないとし、新幣によつてこの缺陷を改善しようとしたのである。

しかし貨幣の職能は貨幣の本質によつて決定され、同時に本質は職能によつて表現される。貨幣本質は社會の經濟機構、商品生産、經濟法則の作用によつて規制されるといわれる。計劃經濟建設と交易と核算の結びきは、計劃經濟に移行した新中國經濟の變化とそれによる人民幣の本質と職能の消長を背景にするものとみなければ、今次貨

幣改革の意義は貨幣論的に理解されない。

新中國過渡社會の經濟は國營經濟、合作社經濟、資本主義經濟と個體經濟の四種經濟成分によつて構成され、これら四種經濟成分の分工合作が新中國の經濟生産力を表現する。工業生産は一九四九年を一〇〇として、五二年一七五・四となり主要生産物は戰前水準を恢復し、五三年二〇〇・三、五四年二五〇と發展している。工業生産にしめる現代工業の比重は四九年一七％、五二年二八％、五三年三一％。國營經濟の比重は工業生産において四九年三六・七％、五二年五九％、五三年六二・三％、五四年七一％、商業において四九年一九・四％、五二年卸賣商業の六四％、五三年同じく七〇％、五四年同じく八八％、農業生産互助組と合作社の全農家にしめる比重は五二年老解放區六五％、新解放區二五％、五三年四三％に伸張した。經濟生産力の恢復と發展を基礎に、國營經濟の指導力の強化、資本主義經濟の國家資本主義化、合作社經濟と國家資本主義經濟における社會主義性の促進、個體經濟の集團化が行われ、國民經濟の社會主義的轉質が進み、なお大部分は商品生産であるが非商品生産が擴大し、剩餘價值法則は計劃的な比例發展法則によつて制限された條件と範圍の中で作用するにとどまつている。

人民幣の本質は一般的等價物であり、その職能は價值尺度、流通手段、貯藏手段、支拂手段であるとされている。この本質と職能は商品生産の必要から生れたものである。したがつて商品生産が存在する過渡時期の社會において、貨幣の本質と職能の上に基本的な變化がおこらない。しかし貨幣が一定の生産關係の下で運動し、一定の所有制と結合するとき、一般的等價物としての本質と職能に影響が與えられる。明らかに過渡時期の生産關係は變質しつゝあり、資本主義所有制は社會主義所有制の下で縮少し、消滅に向つている。

過渡時期の社會經濟制度は、經濟の恢復期から發展期へかけて、基本的ではないが大きく變化をとげている。人

人民幣は、この變化によつてその本質に新しい社會性を加え、職能に消長を示しているのである。

新中國經濟の恢復期において、國家の任務は破壊された經濟生産力を迅速に恢復することであつた。國家は商品貨幣、價值法則の諸範疇を運用し、資本主義經濟と個體經濟の生産性を刺戟し、同時に國營、合作社經濟を指導的地位に發展させなければならなかつた。このため國家は貨幣の職能を利用し、大量の資金を蓄積し、まづ國營經濟と合作社經濟の發展を支持し、迅速に物資を掌握し、計劃的に工業生産の連繫を組織し、資本主義の盲目性を制限する必要があつた。國家銀行は機關、企業、個人から大量の預金を集中し、國營、合作社經濟への投資を保證したのであるが、これは貨幣流通を正確に掌握し、貨幣の諸職能を發揮させ、信用を計劃的に運用した結果であつた。この時期には資本主義經濟が利用、制限、改造の過程にありながらも、なお廣い範圍の活動が許され、資本家は人民幣を一般的等價物としての本質と職能を利用し、資本を蓄積し、勞働者を雇傭し、剩餘價値を獲得することができた。人民幣は資本主義所有制の基礎の上で、一般的等價物として、かつは資本用具としての社會性を働かせていたのである。

經濟發展期において、國家の任務は大規模な社會主義工業を建設し、農業生産を全國的に組織し、資本主義經濟を改造することである。國家は貨幣を計算、計劃用具として利用し、四種經濟成分の生産と商品流通を總括し監督し、商品と非商品の生産と分配を經濟計劃内に組入れ、貨幣を核算用具として利用し、價格、生産費の經濟範疇を運用して國營企業の經濟核算制を強化し、あるいは貨幣の各種職能を利用して、現金を集中し、これを計劃的に信用貸付資金として運用し、結算組織を確立し、全國的に國家資金の回轉をはやめ、その使用を節約し、また貨幣を信用用具として利用し、貨幣流通法則を掌握し、物價の安定と資金集中を維持し、國營經濟を發展させ、合作社經

濟を財政援助し、資本主義經濟を經濟計劃に服従させ、國家資本主義化する必要があつた。この時期では、國民經濟の計劃建設が進行し、國營經濟が急速に發展し、資本主義經濟の活動が縮少する。人民幣の資本化用具としての社會性は、社會主義經濟の制約の下で、計劃的な比例發展法則と國家の計算と計劃用具としての社會性にとつてかわられ、一定の條件と範圍で作用するにすぎない。

人民幣は、經濟の恢復期から發展期にかけて、資本化用具としての社會性を縮少し、新たに計算と計劃用具としての社會性をもつていたつた。これにつれて人民幣の職能は價值尺度の自發的發生作用を弱め、貯藏手段の職能的基礎をあらため、新たに結算手段としての職能をくわえ、諸職能上に重要な變化を引起したのである。

今次の改革は、國家計劃經濟建設の進行にあつて、各個企業單位を經濟計劃に編成し、經濟計劃を全面的に完成し、各個企業が正確に經濟核算制を實施する必要に適應してとられた措置である。交易と核算は、人民幣をして國家計劃經濟に奉仕せしめる作用の表現である。過渡社會において人民幣は無産階級闘争手段であるという。したがつて、人民幣は國民經濟における生産と分配を計算し計劃し、かつ監督する用具たりえなければならぬ。國家計劃經濟建設期においてとくにその作用の強化が要求せられる。今次改革の意義は、それが過渡社會の經濟制度の變化に對應してとられたところにある。

- (1) 楊培新、發行新的人民幣的意義與作用、財政經濟出版社編、發行新的人民幣的意義與作用、一七一—一八頁。
- (2) 中國人民政治協商會議共同綱領、第二十六條。中華人民共和國憲法、第五條。
- (3) 中央人民政府國家統計局、關於一九五二年國民經濟和文化教育恢復與發展情況的公報、大公報社編、一九五五年人民手冊、四一九頁。

中央人民政府國家統計局、關於一九五三年度國民經濟發展和國家計劃執行結果的公報、大公報社編、前掲書、四二四頁。

廖蓋隆、中國的社會主義改造、一三一—二五頁。

陳穆、進一步鞏固的我國貨幣制度、財政經濟出版社編、前掲書、五〇—五一頁。

(4) 陳仰青、鄭伯彬、黃元彬、朱紹文、龍一飛、李紫東共著、關於人民幣的若干理論問題、二四—二五頁。

(5) 陳仰青、外五名共著、前掲書、三〇—四八頁。五二—五三頁。

(6) 楊培新、前掲論文、財政經濟出版社編、前掲書、二一頁。

#### 四、改革の具體方法

一九五五年三月の貨幣改革は、人民幣呼稱單位の引下げ措置であつて、これは新人民幣による舊人民幣の回收方法がとられている。

新幣の種類は、主幣が一元、二元、三元、五元、十元の五種、輔幣が一分、二分、三分、一角、二角、五角の六種である。ただし十元はしばらく市場の情況にもとずき發行されない。新幣の正面圖景は、主幣の一元が北京の天安門、二元が延安の寶塔山、三元が江西寧岡縣の井冈山、五元が各民族群像で、祖國、革命、各民族の團結を象徴し、輔幣の五角、二角、一角、三分、二分、一分が汽船、飛行機、汽車、自動車、トラクターで社會主義工業化の前進を表現している。<sup>1)</sup> なお票面に一九五三年と印刷されているのは、新幣發行がこの年に決定されたため、技術的準備のため五五年まで延期されたものといわれる。<sup>2)</sup>

新舊幣の交換比率は一元對一萬元である。この比率算定の根據は金銀と外國爲替の國內價格が戦前に比べて八千倍から一萬倍に騰貴したところにある。<sup>3)</sup>

商品の舊幣價格、新幣發行前の公債をふくむ債權債務は、すべて法定比率で新幣單位に換算される。ただし商品

價格の換算にあつて、分以下の端數の切上げ、切下げはゆるされない。釣錢の困難な端數の清算は實物で行う方がとられている。

新舊幣の兌換期間は、三月一日から六月十日までである。五萬元、一萬元の舊幣は三月三十一日流通禁止、四月三十日で兌換禁止され、五千元と五千元以下の各種舊幣は五月十日で流通禁止、六月十日で兌換停止される。

兌換機關は、人民銀行本分支店と委託代理機構で、定置のほかに多數の移動兌換所が設けられた。

兌換手續は、きわめて簡單で氏名、職業、住所を申出でる必要がなく、個人のみならず團體兌換もでき、階級をとわず、また數量の多少をとわず兌換が平等に行われる。

破損紙幣は、はじめ一九四九年十一月公布の「殘缺本幣兌換辦法」によつて、破損四分の一以下は全額、四分の一から二分の一は半額の兌換、二分の一以下は兌換しえなかつたのであるが、新たに五五年五月八日「殘缺人民幣兌換辦法」が公布施行され、破損五分の一以下は全額、五分の一から二分の一は半額の兌換、二分の一以上は兌換しえないことになつた。

新幣の發行、舊幣の回收と毀却の監督、検査は、監察部の指示により各級監察機關が行つてゐる。

- (1) 秦碧柱、新人民幣發行的第一天、經濟導報、一九五五年、第八期。新人民幣票樣、經濟導報、一九五五年、第九期。
- (2) 曹菊如、就舊兌換問題答記者問、天津大公報、一九五五年三月一日。
- (3) 人民日報社論、擁護發行新的人民幣、財政經濟出版社編、發行新的人民幣的意義與作用、七頁。  
爲什麼新人民幣和舊人民幣的比率定爲一比一萬元、經濟導報、一九五五年、第八期。
- (4) 國家財經部門負責人談、新幣舊幣打算問題、財政經濟出版社編、前揚書、一〇三—一〇四頁。
- (5) 中國人民銀行通告、一九五五年四月十一日、天津大公報、一九五五年四月十七日。

- (6) 秦碧柱、前掲論文、經濟導報、一九五五年、第八期。
- (7) 韓雷、發行新幣的意義與作用、財政經濟出版社編、前掲書、三二頁。
- (8) 中央人民銀行、殘缺本幣兌換辦法、一九四九年十一月一日。中央人民銀行、委託收兌殘缺本幣實施暫行辦法、一九五〇年三月十四日。中央人民銀行、殘缺人民幣兌換辦法、一九五五年五月八日。
- (9) 監察部指示、各級監察機關監督檢查新幣發行和舊幣收回銷燬工作、財政經濟出版社編、前掲書、一〇九—一一〇頁。

## 五、結 語

貨幣改革の實施が發表された二月二十一日から二十四日の四日間に、北京、廣東等の七都市における預金は舊幣一千億元の増加をみた<sup>1)</sup>。新幣が發行されて旬日、市場流通の新幣は、たとえば北京六五%、天津七〇%、廣州五〇%に達している。物價は、たとえば廣州において三月八日一、一一一種の商品價格を一%から五%、部分的には三〇%引下げたが、市場商品はかえつて増加した<sup>2)</sup>。

新幣が發行されるや、巷間の挨拶に新幣を「着見了嗎<sup>3)</sup>」といい、舊幣が流通しているにもかかわらず、買物にあつて新幣を支拂えば人々はみな同音に「找新幣給我<sup>4)</sup>」という。

傳えられるこれらの事實は、この貨幣改革が人民の希望に應じた、まことに適機<sup>5)</sup>的なものであり、改革が貨幣制度を一層鞏固にするものである如實な表現である。かつて人々は法幣と金圓券を話題にしては、その經濟的收削性を想起し、あたかも「談虎變色」のごとくであつたといわれる<sup>6)</sup>。幣價安定は人をして安居樂業させる一大要因であるが、當時人々はかえりみて法幣、金圓券の價値暴落をおもひ、新人民幣を手にして感なきをえないものがあつたと考えられる。

しかし人民幣價值安定の基礎に全く矛盾がないではない。一般にいわれる「有錢買不到東西」の現象がその一である。工業生産の増加は一九五二年が前年の一一・四、五三年が同じく一一・二・六、他面購買力の増加は五二年が前年の一二・〇、五三年が同じく一一・三・八で生産増加は購買力の増加に及ばない。この需給の隔差が物價騰貴の潜在力であることは疑いえないところである。ここに新幣發行が一九五三年に決定され、技術的準備のため二年をついやし、さらに五五年一月實施されるころ、當時の市況から三月に延期されたという、その政府機關の慎重な設想と周到な準備にもかかわらず、なお兌換工作が複雑困難であり、公布の時間が短かく、宣傳工作が不十分で、準備工作が周到萬全でないとき、宣傳解釋工作の展開と市場管理の強化が要望される理由が存在するものとみななければならぬ。重工業を主體とする五ヶ年計劃實施の過程に、この需給の隔差が急速に解消されることは期待できない。しかし物價上昇が顯著に現れていない現實からすれば、あるいはこの疑問の提起は正當ではなく、杞憂に類する懸念であるかもしれない。

新幣の發行はともあれ貨幣制度の安定と健全の表現であつて、新幣は好着、好算、好使用、好記憶である。新幣は中國人民の生活から十二年來の通貨膨脹の痕跡を徹底的にはらいおとし、新中國の經濟を若がえらせている。元は本來の面目を恢復した。まことに新幣は新中國の新氣象といふべきであらう。

- (1) 王偉才、進一步發展人民儲備事業、財政經濟出版社編、發行新的人民幣的意義與作用、一〇二頁。  
新的人民幣開始發行了、經濟導報、一九五五年、第八期。

- (2) 華輯、新幣發行工作進展迅速、經濟導報、一九五五年、第九期。慕容淑寬、東西更便宜了、經濟導報、一九五五年、第九期。  
(3) 王源興、爲新的人民幣的發行而歡呼、經濟導報、一九五五年、第十期、新幣發行一個月、經濟導報、一九五五年、第十二期。  
(4) 馬明義、惠顧市場的新氣象、經濟導報、一九五五年、第九期。(5) 郭矯沂、貨幣漫話、經濟導報、第七期。



- (6) 穆東、談「有錢買不到東西」、經濟導報社編、一九五四年祖國經濟建設的新成就、四九—五四頁。
- 盧葦、關於農村貨幣流通問題的一些意見、經濟周報、一九五二年、第三期。
- (7) 人民日報論、做好新人民幣的發行工作、財政經濟出版社編、前掲書、一〇—一一頁。
- (8) 岑復、新幣——新中國新氣象、經濟導報、一九五五年、第七期。